



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ワットマン

コード番号 9927 URL <http://www.wattmann.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 一郷

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理総務グループ グループ長 (氏名) 渡邊 匡 TEL 045-959-1100

四半期報告書提出予定日 平成28年8月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	814	8.2	△11	—	△8	—	△15	—
28年3月期第1四半期	753	12.6	21	—	23	—	13	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	△1.38	—
28年3月期第1四半期	1.22	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	2,650	2,085	78.7
28年3月期	2,692	2,121	78.8

(参考)自己資本 29年3月期第1四半期 2,085百万円 28年3月期 2,121百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
29年3月期	—				
29年3月期(予想)		0.00	—	2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,646	10.0	17	91.4	23	61.8	15	—	1.37
通期	3,432	9.4	75	793.2	87	—	67	—	6.12

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

当会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第1四半期累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微です。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	11,368,541 株	28年3月期	11,368,541 株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	432,533 株	28年3月期	432,533 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	10,936,008 株	28年3月期1Q	10,936,524 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(セグメント情報等)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8
5. 補足情報	9
(1) 仕入及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、政府による経済政策や金融政策により緩やかな回復基調が続いているものの、英国の欧州連合（EU）からの離脱懸念に伴う急速な円高の進展および大幅な株価の下落など、依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社は当事業年度を事業拡大期間と位置付けており、急速に変化する市場環境に適合すべく、成長のための体制づくりとマネジメント力の強化を積極的にすすめてまいりました。

また新ブランド「Super Recycle Shop WATTMANN」（スーパーリサイクルショップ ワットマン）のもと、商品と売場の強化、買取強化、ネット事業の拡大、店舗の生産性向上、人材マネジメントの確立、及び新規出店等による企業成長を目指しております。

具体的な営業政策面では、売筋ジャンルの強化、店頭での積極的な買取に加えてネット買取を開始し、良品在庫の増大に努めてまいりました。また、適宜の売価変更と売場への継続的な商品供給を行い商品鮮度を維持するとともに、お客様目線の売場づくりを進め、お客様の購買意欲を高め、売上高の増加と売上総利益額の向上に努めてまいりました。更に生産性向上施策による効率化、低コスト化により、営業利益額・率の向上を目指しました。

店舗政策面では、当第1四半期累計期間におきましては店舗に異動はなく、その結果、18事業所41店舗となっております。

当第1四半期累計期間の売上高は、前年同四半期と比べ61百万円（8.2%）増収の8億14百万円となりました。これは既存店の売上が買取強化等により、前年同四半期と比べ13百万円（1.8%）増収の7億39百万円、開閉店の売上も新店の寄与により48百万円（176.8%）増収の75百万円となり全店で増収となったものです。

商品カテゴリー別の売上高では、既存店の売上増と新店の寄与により電化製品等が前年同四半期と比べ20百万円（13.5%）増収の1億68百万円、服飾等が37百万円（13.8%）増収の3億12百万円、パッケージメディア（本・CD/DVD・ゲーム）が1百万円（0.6%）減収の2億43百万円、その他が4百万円（5.8%）増収の90百万円となりました。

売上総利益は、既存店は買取強化による売上総利益率低下により、前年同四半期と比べ11百万円（2.2%）減益の4億97百万円となりました。開閉店は新店の売上高が増加したため、前年同四半期と比べ24百万円（118.0%）増益の44百万円となりました。その結果、全社で13百万円（2.5%）増益の5億42百万円となりました。一方売上総利益率は66.6%と前年同四半期と比べ3.7ポイント減少いたしました。

商品カテゴリー別の売上総利益は、電化製品等が前年同四半期と比べ6百万円（6.6%）増益の1億6百万円、服飾等が7百万円（3.9%）増益の2億10百万円、パッケージメディアが1百万円（1.2%）減益の1億56百万円、その他が0.7百万円（1.1%）増益の68百万円となりました。

販売費及び一般管理費においては、積極的な販促活動による広告宣伝費の増加と店舗数の増加に伴う人件費、地代家賃の増加の結果、既存店で前年同四半期と比べ0百万円（0.1%）減少の4億86百万円、開閉店で46百万円（214.7%）増加の67百万円、全社合計で45百万円（8.9%）増加の5億53百万円となりました。

上記の結果、既存店は前年同四半期と比べ10百万円（47.7%）減益の営業利益11百万円、開閉店では21百万円減益の営業損失22百万円となり、全社では32百万円減益の営業損失11百万円となりました。経常損益は前年同四半期と比べ32百万円減益の経常損失8百万円となりました。

四半期純損益は当第1四半期の税金費用が7百万円（76.0%）減少し、前年同四半期と比べ28百万円減益の四半期純損失15百万円となりました。

なお、平成27年3月以前より同一業態で営業中の事業所を既存店、その他事業所を開閉店としております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて27百万円減少し、11億9百万円となりました。これは主に現金及び預金が80百万円減少、売掛金が5百万円減少、その他流動資産が1百万円減少し、商品が60百万円増加したこと等によります。

固定資産は、前事業年度末に比べて14百万円減少し、15億40百万円となりました。これは投資有価証券が17百万円、敷金及び保証金が4百万円減少し、無形固定資産が5百万円増加したこと等によります。

この結果、総資産は前事業年度末に比べ41百万円減少し、26億50百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて4百万円増加し、3億41百万円となりました。これは主に、買掛金が4百万円、

その他流動負債が15百万円増加し、1年内返済予定の長期借入金が7百万円、未払法人税等が5百万円、賞与引当金が4百万円減少したこと等によります。

固定負債は、前事業年度末に比べて10百万円減少し、2億22百万円となりました。これは主に、長期借入金が10百万円減少し、退職給付引当金が1百万円増加したこと等によります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べ6百万円減少し、5億64百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べ35百万円減少し、20億85百万円となりました。これは主に、利益剰余金が36百万円減少したこと等によります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成28年5月13日付の「平成28年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」にて発表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

なお、上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

○税金費用の計算

当会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第1四半期累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微です。

(3) 追加情報

(追加情報)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	516,040	435,479
売掛金	46,208	40,638
商品	454,616	514,971
その他	120,362	118,552
流動資産合計	1,137,228	1,109,642
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	365,202	354,794
土地	382,457	382,457
その他(純額)	186,459	197,873
有形固定資産合計	934,118	935,125
無形固定資産		
投資その他の資産	38,281	43,817
投資有価証券		
投資有価証券	40,894	22,995
敷金及び保証金		
敷金及び保証金	515,171	510,603
その他		
その他	26,398	28,244
投資その他の資産合計	582,464	561,843
固定資産合計	1,554,864	1,540,786
資産合計	2,692,093	2,650,428
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,312	16,111
短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	64,790	57,720
未払法人税等	10,650	5,641
賞与引当金	10,000	6,000
その他	190,946	206,262
流動負債合計	337,700	341,735
固定負債		
長期借入金	112,950	102,845
退職給付引当金	17,971	19,047
その他	102,190	101,064
固定負債合計	233,111	222,956
負債合計	570,811	564,692
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	1,681,733	1,681,733
利益剰余金	99,418	62,423
自己株式	△57,526	△57,526
株主資本合計	2,223,626	2,186,630
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△6,618	△5,168
土地再評価差額金	△95,726	△95,726
評価・換算差額等合計	△102,344	△100,894
純資産合計	2,121,281	2,085,736
負債純資産合計	2,692,093	2,650,428

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	753,106	814,524
売上原価	223,902	272,074
売上総利益	529,204	542,450
販売費及び一般管理費	508,190	553,569
営業利益又は営業損失(△)	21,013	△11,119
営業外収益		
受取利息	1,002	823
受取配当金	465	527
受取手数料	1,655	2,275
雑収入	1,186	1,126
営業外収益合計	4,310	4,753
営業外費用		
支払利息	582	732
雑損失	1,094	1,257
その他	48	77
営業外費用合計	1,725	2,067
経常利益又は経常損失(△)	23,598	△8,433
特別利益		
固定資産売却益	-	754
特別利益合計	-	754
特別損失		
固定資産除売却損	519	695
投資有価証券売却損	-	4,432
特別損失合計	519	5,127
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	23,078	△12,806
法人税等	9,649	2,316
四半期純利益又は四半期純損失(△)	13,429	△15,123

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は単一のセグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 仕入及び販売の状況

1. 商品仕入実績

当第1四半期累計期間における商品仕入実績は、次のとおりであります。

事業	品目	金額(千円)	構成比(%)	前年同期比(%)
リユース事業	電化製品等	72,343	21.8	143.0
	服飾等	143,824	43.3	176.4
	パッケージメディア	90,551	27.2	110.0
	その他	25,709	7.7	144.3
合計		332,428	100.0	143.1

- (注) 1 金額は仕入価格によっております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3 パッケージメディアは本、CD/DVD、ゲーム全般から構成されております。

2. 販売実績

当第1四半期累計期間における販売実績は、次のとおりであります。

事業	品目	金額(千円)	構成比(%)	前年同期比(%)
リユース事業	電化製品等	168,280	20.6	113.5
	服飾等	312,624	38.4	113.8
	パッケージメディア	243,291	29.9	99.4
	その他	90,327	11.1	105.8
合計		814,524	100.0	108.2

- (注) 1 金額は販売価格によっております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3 パッケージメディアは本、CD/DVD、ゲーム全般から構成されております。